

## おわりに

本報告書では、本格的な地域間競争の時代における当市の産業振興戦略として、基本的な考え方を体系化し、「農」「環境」「歴史」「交通ネットワーク」という4つの地域資源を活かした7つの重点推進プロジェクトを取りまとめてきた。

今後は、これらの理念に基づいた具体的な産業振興の仕組みづくりと、各プロジェクトの迅速な実施が求められ、また、本検討チームで描いてきた地域経営の一環としての産業振興を推進していくため、より全庁的な産業振興体制の構築が必要である。

このような観点から、本市では、平成16年度事業として本検討チームでの取り組みを発展・拡大させた「地域産業再生大綱策定事業」を実施する予定である。

以下では、その中で今後取り組むべき課題を提示し、本報告書の結びとする。

### 課題1：重点推進プロジェクトの進捗管理体制の構築

本報告書に掲げた重点推進プロジェクトでは、そのいずれもが推進体制として横断的な組織の設置や、関係部署間の連携を掲げている。迅速な事業実施を担保するためにも、庁内における分野横断的な産業振興推進体制の構築と進捗管理の実施が必須の課題である。

### 課題2：他分野における重点推進プロジェクトの検討

本報告書に掲げた重点推進プロジェクトは、産業環境部職員を中心とした組織構成により取りまとめた。今後は、福祉関連産業や、行財政改革を通じたパブリックビジネス創出など、ここで取り上げなかったより幅の広い分野も視野に入れたプロジェクトの検討が必要である。

### 課題3：産業界の現場や市民の声を取り入れたより具体的な施策の検討

本報告書を庁内・市民・民間事業者に対して広く公表し、市民や事業者との協働による産業振興を推進していくためのたたき台としても活用することにより、産業界の現場や市民の声を取り入れたより具体的な施策の検討が必要である。

### 課題4：産業振興につながる戦略的なまちづくりの施策

本報告書の第4章で掲げてきたとおり、本市が今後地域経営の一環としての産業振興を推進していくためには、直接的な産業振興施策の推進に止まることなく、市行政のあらゆる分野の施策を産業振興につなげていくための仕組みづくりが不可欠である。

このような観点から、都市基盤の整備、シティセールス・都市ブランド戦略、行財政改革、人材育成などの施策について、産業振興の観点からの検証を行い、具体的な連携策を講じていくことが必要である。

## 参考文献

### □内発的発展論

鶴見和子／編（東京大学出版会 1989. 3）

### □内発的産業形成に関する調査研究 ―地域産業おこしの理念とプロセス―

（総合研究開発機構 1990. 11）

### □都市と農村の内発的発展

佐々木雅幸／著（自治体研究社 1994）

### □構造改革下の地域振興―まちおこしと地場産業―

下平尾 勲／著（藤原書店 2001. 10）

### □産業おこしとまちづくり

下平尾 勲／著（八朔社 1989）

### □まちづくりの近未来

三船康道＋まちづくりコラボレーション／編著（学芸出版社 2001）

### □環境経済学

宮本憲一／著（岩波書店 1989. 6）

### □市町村のための産業振興のポイント

市町村産業振興研究会／編著（ぎょうせい 2003）

### □コミュニティビジネス

細内信孝／著（中央大学出版会 1999）

### □黒川和美の地域激論―日本の問題、地方の課題―

黒川和美／著（ぎょうせい 2002. 8）

### □地域産業の挑戦

ふくしま地域づくりの会／編（八朔社2002. 6）

### □バイオマス産業社会―「生物資源（バイオマス）」利用の基礎知識―

原後雄太、泊 みゆき／著（築地書館 2002. 11）

### □体験型観光のすすめ

藤澤安良／著（観光経済新聞社）

上越市産業振興戦略検討子一ム報告書

発行日 平成16年3月

発行・問合せ 上越市企画部 上越市創造行政研究所  
〒943-0806 上越市木田新田 1-1-10  
電話 025(524)6101